

痔核・痔瘻根治術パス 入院診療計画書

患者 I D	主治医	病 名	説 明 日
患者氏名	() 担当医	管理栄養士	症 状 ☐ 事前検査による異常所見
生年月日	() 看護師	特別な栄養管理の必要性	☐ 患部の自覚症状
病棟(病室)	薬剤師	☐ 有 ☐ 無	(疼痛・出血・)

月 日	入院日・前日	手術前
患者目標	不安なく手術を受けることができる	
治療 処置 注射 (内服)	現在使用している薬をすべて確認します(現在中止している薬も含む) 入院中に使用する薬について説明します アレルギーの有無等を確認します 手術前日の14時に下剤を内服します 	朝の薬は 時 分 に()を 少量の水で内服します 午前中から点滴をします 
検 査	必要に応じて行います	
食 事	常食(必要に応じて治療食)です 手術前日夕食以降は食事をとることはできません 手術前まで水分(水・お茶のみ)は決められた時間と量で摂取することができます	食事をとることはできません 
排 泄	制限はありません	
清 潔	シャワー浴ができます(必要な場合はお手伝いをします)	
活 動 (安静度)	制限はありませんが、病棟を離れる際はスタッフに声をかけてください	病室内でお過ごしください 手術室へ歩いて移動します 状態によっては車椅子やベッドで移動します
説 明 (指 導)	入院生活や手術について説明します 義歯・補聴器があるかを確認します ネームバンドを装着します 手術室看護師の訪問があります 手術の際必要な物品を説明します 手術前までに用意してください 	手術開始予定時刻は 時 分です 手術着に着替え、弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を着用します 装身具(眼鏡・時計・義歯・指輪等)を外します ご家族の方は病棟の食堂にてお待ちください (離れる際はスタッフに声をかけてください)
その他	転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し対応させていただきます	

上記の内容は状態によって変更する場合があります。変更の際は、その都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

外科パス:

痔核・痔瘻根治術パス 入院診療計画書

患者氏名

() 患者 I D

月 日	手術後	術後1日目	退院日
患者目標	手術後合併症を起こさない		日常生活に支障がない状態で退院を迎えることができる
治療 処置 注射 (内服)	適宜体温や血圧を測ります 足にフットポンプを装着します 酸素マスクを装着する場合があります 夜中に点滴が終了します	回診時、パットの汚染が多い時は交換を行います (退院まで必要時行います) 回診時と夜、手術部位に薬を塗ります	退院時に処方がある場合は薬剤師からお渡しします (不在の場合には看護師からお渡しすることもあります)
検 査	必要に応じて行います		ネームバンドを外します 体温計を回収します
食 事	手術3時間後から水分(水・お茶のみ)を摂取することができます (その際はお知らせします)	常食(必要に応じて治療食)が開始となります	退院後の過ごし方、次回外来について説明をします
排 泄	尿の管が入っています 排便はベッド上で便器を使用します	尿の管を抜きます 尿の管を抜いた後は制限はありません	次の外来予約票と診察券をお渡しします
清 潔	翌朝まで手術着のままで観察していきます 消灯前にベッド上でうがいと顔拭きを行います	タオルで体を拭くことができます (必要な場合はお手伝いをします)	会計担当者がお部屋へ伺います(開院日) 会計の説明を聞いてから退院となります 状況によっては、多少お待ち頂く場合がございます
活 動 (安静度)	翌朝の回診まではベッド上で安静となります 手術後に医師から説明があります 	回診後からは病棟内でお過ごしください (初回歩行は看護師が付き添いをします) 初回歩行後はふらつきなどがなければ1人で歩けます 歩行後、弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を脱ぎます 状態によって変更があります	
説 明 (指 導)	手術後に医師から説明があります 麻酔の副作用(頭痛)予防のため、頭部を強く動かさないでください	排便後はウォシュレットできれいにお尻を洗ってください その後パットをあて、汚れていたら交換してください ご自身で手術部位に薬を塗ることができるよう指導します	
その他	痛みが強い時や気持ちが悪い時など、異常を感じた時はすぐにお知らせください	毎日回診があり、医師が手術部位の状態を確認します	



外科パス: